

「次世代人材育成ワーキンググループ」の検討状況について

現状と課題

- 技術、技能を受け継ぐ次世代の人材については、近年、若者の製造業離れや理工系離れが顕著になっていることから、小・中学校といった早い時期からものづくりに関心を持つ機会を提供するとともに、高校生や大学生等のものづくりに対する意識啓発や職業意識の醸成などを図っていくことが重要

検討テーマ

- ①製造業（ものづくり）に対する理解促進、職業意識の醸成
 - 子供たちがものづくりの楽しさ、面白さを知る機会を効果的に提供
 - 高校生、大学生等の製造業への理解促進、職業意識醸成

検討結果を受けて

WG検討結果→さまざまなツールを活用して取組を推進

- ネットワークの関係機関との連携
- 経済産業省の企業立地促進法による人材養成等支援事業
- 厚生労働省の緊急地域共同就職支援事業
- 厚生労働省の緊急雇用創出事業交付金事業
- 厚生労働省の「地域ものづくり人材育成支援事業」（H21新規事業）

H21 取組方向

- 小中学生のものづくり体験機会の効果的な提供（H21）
 - ①技能士や関係機関指導員等によるものづくり体験会の実施《赤いカ・チャレンジ事業（道）》
 - ②関係機関共同による工場見学情報（リスト）の提供《非予算事業》
 - ③関係機関共同によるものづくり体験情報（マップ）の提供《非予算事業》
 - ④ものづくり人材（シニアアドバイザー）データベースの充実、マッチング《非予算事業》
 - ⑤**ものづくり理解促進に向けた次世代人材育成事業（ものづくり体験会等）《地域ものづくり人材育成支援事業（国）》**
- 高校生、大学生、若者等の製造業への理解促進、職業意識の醸成（H21）
 - ①学生向け工場見学ツアー、スペシャリスト招へい事業の全道的展開《緊急地域共同就職支援事業（国）》
 - ②工業高校と技専等の連携強化（スキルアップ講座の実施等）
《緊急地域共同就職支援事業（国）、赤いカ・チャレンジ事業（道）》
 - ③普通高校生のものづくりへの誘導（出前講座の実施等）《各高等技術専門学院（道）》
 - ④教職員向けセミナー・職場見学会の実施《緊急地域共同就職支援事業（国）》

H21 検討方向

- 【継続検討項目】
- 高校生、大学生、若者等の製造業への理解促進、職業意識の醸成
 - ・保護者向けセミナーの開催など
 - 次世代ものづくり人材育成応援企業の認証・表彰制度創設
 - ・制度創設に向け、引き続き検討（道内のインターンシップやキャリア教育支援の実態調査実施、他都府県の事例検討等）など
- 【その他新規検討項目の洗出し】

WGメンバー

- ・北海道経済産業局
- ・北海道労働局
- ・雇用・能力開発機構
- ・北海道職業能力開発協会
- ・北海道機械工業会
- ・北海道中小企業総合支援センター
- ・キャリアバンク
- ・北海道教育庁
- ・北海道（人材育成課・産業振興課・雇用労政課）

開催実績

第1回WG	H20.	9.	25
第2回WG	H20.	11.	19
第3回WG	H21.	2.	9

※WGは、概ね1～2ヵ月に1回のペースで定期的
に開催し、その他メールによる意見交換、個別打
合せを実施し、2月に中間取りまとめを行った。